

平成18年度第3四半期における運用状況

○ 平成18年度第3四半期(平成18年10月～12月)のポートフォリオ別の運用状況

1 被保険者ポートフォリオ

平成18年度第3四半期(平成18年10月～12月)における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成18年12月末の時価総額は963億32百万円となり、第3四半期総合収益は+18億10百万円となりました。また、修正総合利回りは+2.01%となりました。

平成18年度通期(平成18年4月～12月)の総合収益は、参考欄のとおり+21億25百万円、修正総合利回りは+2.44%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成18年9月末 時価総額 ①	第3四半期保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成18年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	63,371	1,812	65,183	65,392	67.9	208	0.32
国内株式	13,706	313	14,018	14,672	15.2	654	4.72
外国債券	3,192	-66	3,127	3,242	3.4	115	3.63
外国株式	8,469	-69	8,400	9,235	9.6	835	9.87
短期資産	52	3,741	3,794	3,791	3.9	-2	-0.77
合 計	88,791	5,732	94,522	96,332	100.0	1,810	2.01

(注) 1. 外国資産に係る保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、「短期資産」欄で整理しています。

2. 「第3四半期保険料・国庫補助投下額②」欄は、受給権者ポートフォリオ等へ繰入れた額が除かれています。

3. 単位未満を四捨五入しているため、合計欄で合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成18年度通期(平成18年4月～12月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成17年度末 時価総額 ①	平成18年度保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成18年12月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	平成18年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	57,192	7,415	64,607	65,392	67.9	785	1.29
国内株式	14,581	314	14,896	14,672	15.2	-224	-1.53
外国債券	2,510	428	2,939	3,242	3.4	304	10.44
外国株式	8,219	-258	7,961	9,235	9.6	1,274	15.61
短期資産	-468	4,274	3,805	3,791	3.9	-14	-6.33
合 計	82,034	12,173	94,207	96,332	100.0	2,125	2.44

2 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成18年度第3四半期(平成18年10月～12月)における被保険者及び期待者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。
(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成18年9月末 時価総額 ①	第3四半期繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成18年12月末 時価総額 ④	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	678,711	40	678,751	679,433	683	0.10
調整準備金	短期資産	337,652	-255	337,397	337,737	341	0.10
合 計		1,016,362	-215	1,016,148	1,017,171	1,023	0.10

(注)「第3四半期繰入額②」欄は、被保険者ポートフォリオから受入れた額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへ繰入れた額が除かれています。

3 受給権者ポートフォリオ

平成18年度第3四半期(平成18年10月～12月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成18年9月末 時価総額 ①	第3四半期繰入額②	計 ③(①+②)	平成18年12月末 時価総額 ④	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	102,157	15,696	117,853	118,889	1,036	0.96
短期資産	4,634	-1,867	2,768	2,769	1	0.03
合 計	106,792	13,829	120,620	121,657	1,037	0.94

(注)「第3四半期繰入額②」欄は、被保険者ポートフォリオから受け入れた額が含まれています。

4 受給権者危険準備金ポートフォリオ

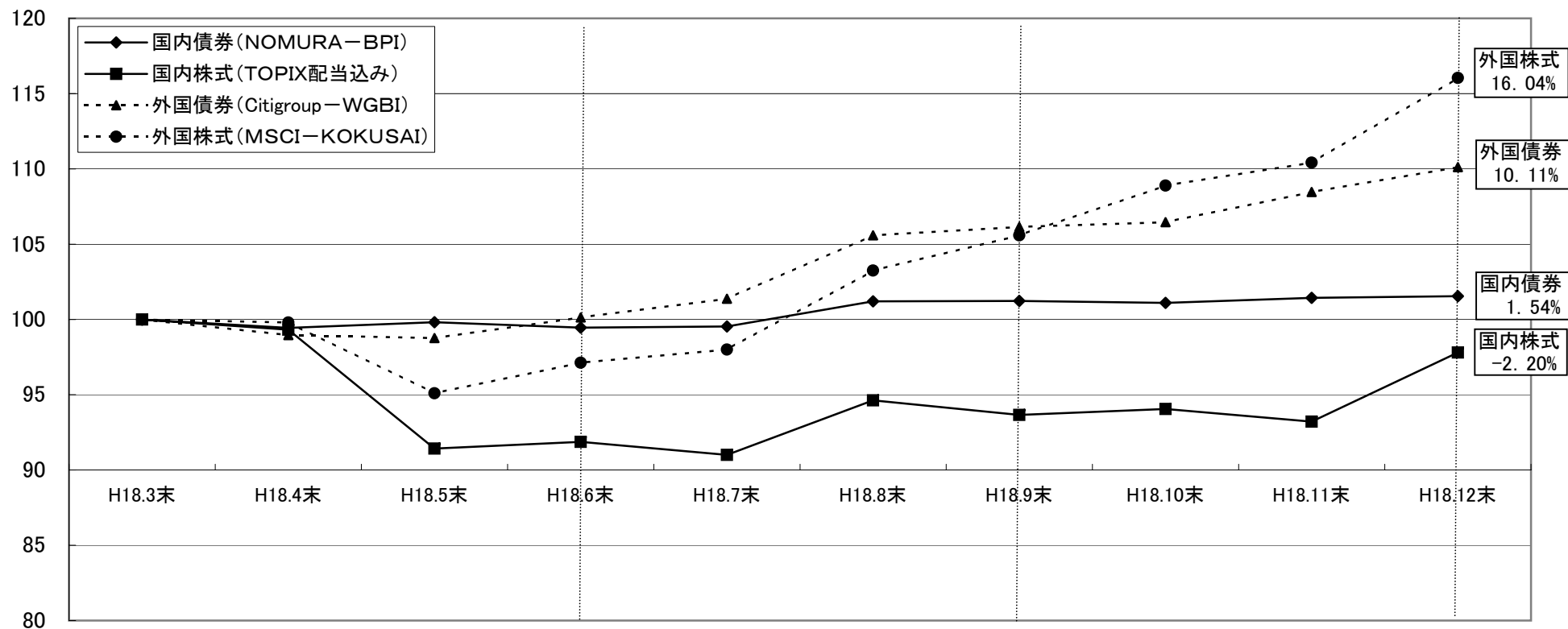
平成18年度第3四半期(平成18年10月～12月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成18年9月末 時価総額 ①	第3四半期繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成18年12月末 時価総額 ④	第3四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	64,161	7,145	71,306	71,360	54	0.08

(注)「第3四半期繰入額②」欄は、被保険者ポートフォリオ等から受入れた額が含まれています。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H18.3末=100)



○運用環境

	平成18年3月末	平成18年6月末	平成18年9月末	平成18年12月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.764 %	1.913 %	1.666 %	1.674 %
(NOMURA-BPI総合)	295.479 ポイント	293.861 ポイント	299.101 ポイント	300.044 ポイント
国内株式(日経225)	17,059.66 円	15,505.18 円	16,127.58 円	17,225.83 円
(TOPIX配当込)	2,009.57 ポイント	1,846.09 ポイント	1,882.18 ポイント	1,965.45 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	4.853 %	5.145 %	4.632 %	4.702 %
(Citigroup-WGBI)	305.09 ポイント	305.50 ポイント	323.83 ポイント	335.95 ポイント
外国株式(NYダウ)	11,109.32 ドル	11,150.22 ドル	11,679.07 ドル	12,463.15 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	1,447.614 ポイント	1,405.973 ポイント	1,528.451 ポイント	1,679.867 ポイント
為替レート(対ドル)	117.99 円	114.32 円	118.07 円	119.16 円
(対ユーロ)	142.78 円	146.17 円	149.56 円	157.12 円

専門用語の解説

○ ポートフォリオ

もともとは、折りかばんを意味するものであったが、投資家が保有資産をさまざまな証券(銘柄)で組み合わせて保有していることから転じて、証券分析においては、種々の有価証券を組み合わせたもの。

○ 総合収益

期間中に発生した債券利息、株式配当金や債券・株式の売買損益といった実現収益だけではなく、株価変動等による評価損益の増減や未収収益の増減を加味した時価ベースの収益。

○ 修正総合利回り

運用成果を測定する尺度の1つ。

総合収益を反映し、運用元本に時価の概念を加味した収益率のことで、算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す際に、時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として広く普及。

(計算式)

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現収益} + \text{評価損益増減(当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} + \text{未収収益増減(当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)}}{\text{運用元本平均残高} + \text{前期末評価損益} + \text{前期末未収収益}}$$

○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の基準となる指標。

運用収益率の絶対値の高低による評価は、投資環境の違いを反映せず、運用期間が異なる場合に、その比較が不可能である。しかし、投資環境を反映する指標(TOPIX等)があれば、指標に対してどの程度上回る収益率を達成できたかを算出することにより、運用期間の異なるものとの比較が可能。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成・発表している国内債券市場の指標。国内債券の指標としては代表的なものであり、基金もベンチマークとして採用。

* TOPIX(配当込)

東証一部上場全銘柄の株価を株式数で加重平均して算出したもの。国内株式市場の代表的な指標であり、基金もベンチマークとして採用。

* Citigroup-WGBI(除く日本)

シティグループが作成・発表している世界国債の指標。時価総額につき一定基準を満たす世界の国債について、投資収益率を指数化したもの。外国債券投資の指標としては代表的な存在。基金も外国債券のベンチマークとして採用。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成・発表している日本を除く主要国で構成された外国株式指数。対象国の包括性、切り口の多様性等の点で、外国株式投資の指標としては代表的な存在。基金も外国株式のベンチマークとして採用。